

やましん歌壇掲載歌＜第10回＞

短歌	掲載短歌	平成26年3月～平成31年4月	令和1年5月～
		H28年2月：起業よりはや十五年廃業の 意思を固めぬ勤労感謝日：大滝 保選 H28年3月：雪原を一輛列車進み行く 女子高生のにぎわい乗せて（**：長谷川氏の写真）： 阿部京子選（筆頭一席） 選評：過疎地をつなぐローカル線の通勤通学時にのみ賑わう一輛の情景。簡潔にまとめられた。評も簡潔に終わる。	R2年5月：落味噌は春の使いと立つ厨 レシピ片手に男の一品（*）：井上管子選 R2年5月：コロナ禍にインバウンドの災いし 拡散止まらぬ日本列島：大滝 保選
共同制作（**） 写真短歌（*）		写真短歌  写真撮影者・撮影地：長谷川圭太（山形大学学生）中山町 短歌：黒沼貞志 平成28年3月21日付け「やましん歌壇」掲載歌（阿部京子選 筆頭一席） 写真短歌は一般的に写真が先にあり短歌は後で添えることが多い。 ただ、このケースは先に短歌が出来て歌壇で掲載されています。 後日、知友長谷川氏がFacebookに投稿された写真を見つけた承をいただき共同制作の写真短歌作品に仕立てました。	写真短歌  写真撮影地：山形市（自宅） 短歌：令和2年5月25日付け「やましん歌壇」掲載歌（井上管子選）
作品	短歌	87首	101首（令和7年3月まで）
	写真短歌	38作品（自身の作品：37＋共同制作：1）	72作品（自身の作品：50＋共同制作：22）